

平成29年度

海岸公園（蒲生地区）にて市民植樹を開催！！



6月3日（土）、海岸公園（蒲生地区）にて市民植樹を開催いたしました。プロジェクト開始から通算3回目となる市民植樹。今回も地域の方々や、ご協賛いただいた企業の皆様、みどりづくりの支援団体の方々など約300名の参加をいただき、ヤマザクラやトチノキ、コナラなど、約2500本の苗木を植樹しました。また、同所における前回の植樹箇所の除草作業も行いました。

（梅雨に入る前に作業ができてよかったです！）



7月1日、海岸公園は震災から約6年の歳月の再整備工事を経て、全面オープンします。今回の植樹がその一助となれば幸いです。引続き植え育てる活動を行って参りたいと思います。



平成29年度

第一回連絡会を開催しました



5月17日（水）、せんだい3.11メモリアル交流館にて、本年度第1回目の連絡会を開催しました。今回から「みやぎの区民協議会」が新たに会員となりました。

会議では、市民植樹の企画や確認を行い、今年度の活動スケジュールも確認いたしました。

▼情報は Facebook にて発信中！



プロジェクトの活動の様子は Facebook ページにて発信中です！是非フォローと「いいね！」をお願いします！

また、活動への参加は、いつでも、どなたでも！お待ちしております。

編集・発行：ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議事務局

▶特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

▶仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

緊急育樹会！海岸公園（荒浜地区）

6月22日、仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議会員10名による育樹作業を第2回市民植樹（海岸公園荒浜地区：H29年3月実施）エリアにて行いました。

作業前日から梅雨入りした仙台ですが、雨のおかげで土が柔らかく除草作業はスムーズに進み、高さ1mほどに伸びた雑草の中でも、苗木が大きく成長していることを確認できました。

杜の再生は「植える」で終わりではありません。「育てる」活動も今後ますます必要になってきます。

緑の成長や花などを楽しみながら、皆様と一緒に「育樹」をしませんか？ご参加をお待ちしております。



活動紹介① みんなの広場（新浜町内会）

4月29日（土）、仙台沿岸部の新浜地区で町内会による花木を植える活動がありました。

当日は町内会の皆さんや大規模圃場整備工事を行っている建設会社の方等約60名で、JA神奈川造園部会からご支援いただいたサザンカ、ジンチョウゲ、ツゲ、モミジ、モミを植えました。

新浜町内には公園がないため、旧集会所の跡地を「みんなの広場」と位置づけ、子どもから年配者までくつろげる場所として利用していくとのことです。

☆問合せ 新浜町内会 担当：遠藤
mail:endo_h_g@lemon.plala.or.jp



活動紹介② 久保野キッズアグリガーデン（花と緑の力で3.11プロジェクト）



5月3日（水）、仙台市宮城野区久保野の集団移転地区でKanaHouseの完成を祝う会がありました。

2011年から様々な方にご支援をいただき、花と緑あふれる地域の方の憩いのガーデンを作っています。

☆問合せ 花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会 担当：鎌田
http://311shien.net/contact/

第四回

育樹会を開催しました！ 海岸公園（蒲生地区）



8月26日(土)、育樹会を海岸公園蒲生地区(H28年3月植樹エリア)で開催しました。晴天に恵まれ、ご参加いただいた57名の方とともに苗木まわりの除草作業や苗木の本数計測・樹高測定を行いました。

昨年の育樹会から苗木の本数が若干減っていたものの、樹高は1mほどに伸びているものもあり、順調に生育している様子を確認することができました。参加された皆様から「苗木の成長を見るのが楽しい」「除草後の苗木が立ち並ぶ姿を嬉しく思った」などのお声をいただきました。

作業後は、本プロジェクトの連絡会議会長から、コナラやクヌギ等の苗木について解説がありました。また、第2部の自然観察会では東北学院大学の平吹先生にガイドをお願いし、津波に耐えて残った松林と実生から育つマツの見学を行いました。参加された皆様からは「災害から負けずに成長している植物、動物の生命力を感じた」などの感想をいただきました。秋に海岸公園(荒浜地区)においても育樹会を実施いたしますので、皆様のご参加お待ちしております。

緑の活動への参加の記録・貯めて楽しむ スタンプカード、できました！

8月26日の第4回育樹会よりスタンプカードをはじめました。ふるさとの杜再生プロジェクトの活動(市民植樹・育樹会・連絡会議会員の活動)の1回参加ごとに1ポイントたまります。スタンプの種類も順次増えていきますので、集めることを楽しみながら活動に参加いただき、記録代わりとしても大切に保管していただければ幸いです。



編集・発行：ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議事務局

▶特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

▶仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

育樹ボランティア 海岸公園（荒浜地区）

8月21日（月）海岸公園（蒲生地区）にて、埼玉県立鶴ヶ島清風高校の有志19名によるボランティア活動をしていただきました。

清風高校は、平成27年から毎年、研修プログラムで宮城野区の南蒲生町内会を訪れており、「東日本大震災ボランティア」も行っております。

今回のボランティアでは、市民植樹（平成29年6月開催）のエリアの苗木を雑草から守るため、苗木の目印つけと除草作業を行いました。

高校生の皆さんは、観察眼が鋭く、すぐに苗木と雑草の違いを見抜かれていたり、曇り空と蒸し暑い天候の中でも一生懸命作業していただき、苗木の成長が一目でわかるようになりました。

今後も苗木の成長をみていただけるよう、これからも育樹を通して交流を続けていきたいと思っております。



活動紹介①

大内さんちの居久根プロジェクト

（認定特定非営利活動法人 冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク）

5月4日（木）、仙台市若林区二木地区の大内さんちで居久根の植樹を行いました。

当日はミモザガーデナーズさんや地域の皆さんとともに、地元の造園屋さんのご指導をいただきながらビワやカキ、ツバキなど約30種・60本を超える樹木を植えました。

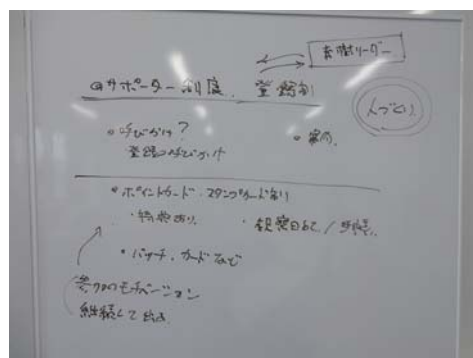
大内さんちの近くの「二木山王」のバス停にあるメドーガーデンではヤグルマソウ・ポピーが見ごろを迎えています。



☆問合せ 冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク 担当：高橋
TEL:022-264-0667 mail:jimukyoku@bouken-asobiba-net.com

平成29年度

第二回連絡会と作業部会を開催しました



6月27日（火）、せんだい3.11メモリアル交流館にて、本年度第2回目の連絡会を開催しました。

今回は、市民植樹のふりかえりや育樹会の企画を行い、夏の育樹会の具体的な企画検討を進めました。また、今年度は作業部会を設けて、プロジェクトの計画づくりに取り組むこととしました。

第五回

育樹会を開催しました！ 海岸公園（荒浜地区）



10月9日（祝日）、第5回育樹会を海岸公園荒浜地区（H29年3月植樹）で開催しました。秋晴れの下、47名の方々と苗木まわりの除草作業等を行いました。

今年の3月に植えたとは思えないほど苗木の成長は良く、肥料木でもあるヤマハンノキは樹高が2mほどに伸びているものもありました。参加の皆様からは「初めての草刈、楽しかった」「雑草が根深く抜くのが大変だった」「苗木がだいぶ育っていてびっくりした」などのお声をいただきました。前回も好評だった樹木の特性レクチャーですが、仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議の佐藤会長からコナラやエノキ等6種類の苗木について解説を行い、葉を触ったりしながら皆さま真剣に解説を聞かれました。

第2部は七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」さんに荒浜のガイドをお願い、海岸公園の避難の丘から荒浜祈りの塔までの散策を行いました。参加の皆様からは「現地で被災した方々の生の声が聞けてとても貴重なことだと思った」「6年半を経たが、当時の姿がまだ残り、復興への道のりの遠さと津波の脅威を改めて感じた」などの感想をいただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

活動紹介①

仙台商工会議所青年部 創立15周年記念植樹 が開催されました！



11月3日（金）海岸林（荒浜字南官林地区）にて、仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議の準会員の仙台商工会議所青年部による創立15周年記念植樹が開催されました。

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議として、海岸林の植樹は初めての試みでしたが、当日は青年部メンバーやそのご家族、約93名の方が参加され、抵抗性クロマツの苗木1,600本を植樹することができました。

また11月14日の同団体創立15周年記念式典では植樹の様子が上映されました。

今は20cmほどの苗木ですが、今後5年間は連絡会議メンバーもサポートを行いながら、団体に責任をもって育てていただく予定です。津波に耐えて残ったマツのような大きさになるように、杜づくりは続きます。

編集・発行：ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議事務局

▶特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

▶仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

活動紹介②

第5回どんぐりの森づくりプロジェクト

(仙台市公園緑地協会)

10月26日(木)向山中央公園にて、(公財)仙台市公園緑地協会による第5回どんぐりの森づくりプロジェクトが開催され、仙台市向山小学校の1・2年生93名が参加しました。

東日本大震災当時は1歳前後だった児童の皆さんですが、震災の時の様子を家族や周りの大人から聞き、「誓いの言葉」として発表してくれました。

協会職員から芽を出しやすいどんぐりの見分け方と植え方を教えてもらったあと、一斉に公園の中を走り回ってどんぐりを拾い、1人5ポットずつ苗をつくりました。

これらのどんぐり苗は小学校の敷地内や公園で2年間大切に育てられ、児童が3・4年生になった時に仙台東部地域の海岸林として植樹する予定です。

向山中央公園にお越しの際はぜひ苗の成長をご覧ください。



活動紹介③

イグネスクール、南蒲生と六郷東部地区にて開講！

(都市デザインワークス/南蒲生町内会/冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク)

本年度もイグネスクールを開講しました。昨年度実施した宮城野区の南蒲生に加えて、若林区の六郷東部地区でも初めて開講しました。

南蒲生では、9月から11月にかけて全4回の講座となりました。昨年度の授業を復習し、町内会で取り組む「みんなの畑」のプロジェクトと連動した植樹や、これまでの植樹箇所の観察と育樹作業も行いました。本年度も専門家を講師に迎えて、植えるための計画づくりや、現地での用土の作り方もしっかりと学びました。

六郷東部地区では、新たにオープンしたコミュニティセンターを会場に、「大内さんちの居久根プロジェクト」に取り組む冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークから、これまでの取り組みの概要を聞きました。大内さんご本人からも震災復興とみどりの再生に取り組む想いや今後のイメージをお伺いする事ができました。

現代の暮らしに沿った居久根再生の輪が徐々に拡がりつつあります。



連絡会議、作業部会を開催してプロジェクトを進めています！



引続き、せんだい3.11メモリアル交流館や海岸公園センターハウス(荒浜地区)等で、連絡会議やリーフレット作成のための作業部会を開催して本プロジェクトを進めています。

プロジェクトの全体計画を示したリーフレットは3月に発行予定です。お楽しみに！！



平成30年度

植樹会を開催しました！（荒浜字南官林）



▶プロジェクト初の海岸林の植樹会！

3月24日（土）、植樹会を荒浜字南官林にて開催しました。

晴れ空の下、約450名の方々と2,500本の苗木を植樹しました。今回は、プロジェクトとしては初の海岸林植樹となり、クロマツとヤマザクラなど10種類の広葉樹の苗木を場所に応じて植えました。（成長イメージは下段参照）

郡市長の挨拶では、「市民協働の取り組みとして、今後も地元や企業、市民の皆様から協力をいただいて、行政としても力を入れて植え・育てていきたい」旨のコメントがありました。

また、連絡会議代表の仙台緑のボランティア団体連絡会・佐藤修氏から2月に完成した本プロジェクトのリーフレット（本紙裏面参照）について紹介があり、今回の植樹参加者に配布いたしました。

本プロジェクトの海岸林エリアでは、今後約10haの面積に約四万本の植樹を2019年度までに行う計画です。なお、今回の植樹箇所についても多くの育樹の機会が必要になります。引き続き多くの方のご参加をお待ちしております。

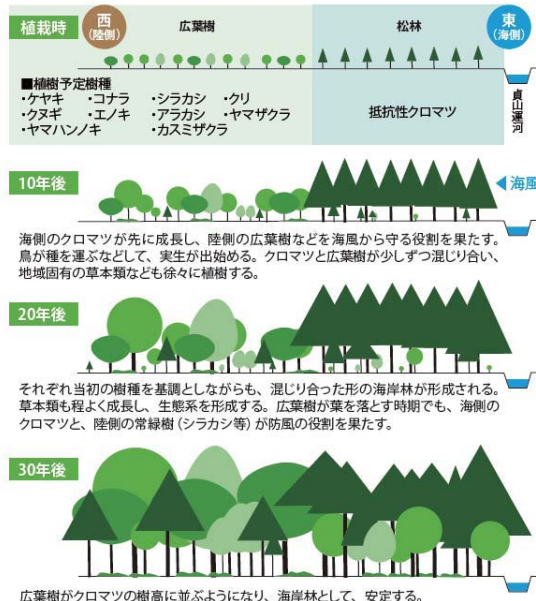
▶海岸林の成長イメージ

本プロジェクトのリーフレットより

本プロジェクトでは、貞山運河より陸側の海岸林のうち、仙台市で土地を所有する部分で植樹を行います。

その中でも、海側は成長の比較的早い抵抗性クロマツを植え、陸側の広葉樹を海風から守る役割を持たせます。

30年後には、クロマツと陸側の広葉樹が概ね同じ樹高になる事が想定され、この時には、鳥などが種を運んで、クロマツと広葉樹が混じり合った海岸林の姿となり、背丈の低い草本類なども繁茂し、海岸の生態系が豊かなものになっていると考えられます。



編集・発行：ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議事務局

▶特定非営利活動法人都市デザインワークス
TEL:022-264-2405
mail:info@udworks.net

▶仙台市百年の杜推進課
TEL:022-214-8389
mail:ken010241@city.sendai.jp

プロジェクトのリーフレットができました！！



本プロジェクトを紹介するリーフレットを作成しました。

平成23年3月に発生した、東日本大震災の津波により大きく失われた、仙台東部地域のみどりを再生する取り組みとして、平成25年度にスタートしました。

市民ひとりひとりの手による「ふるさとの杜」を30年かけてつくっていく、息の長い取り組みですが、活動5年目を迎えた本年度の植樹会では、初めて海岸林の植樹作業を行い（本紙表面参照）、「植える」「育てる」活動も本格化しています。

今後、どのように取り組んでいくか、どのようなイメージを持って進めていくか、このリーフレットにまとめました。

現在、以下の箇所にて配布中ですので、是非ご覧下さい。

せんだい3.11メモリアル交流館、震災遺構仙台市立荒浜小学校、たまきさんサロン、海岸公園センターハウス（荒浜地区・蒲生地区）、南蒲生集会所、新浜みんなの家、六郷東部地区コミュニティーセンター、仙台市百年の杜推進課

開催
されました

貞山運河フォーラム



2月25日(日)せんだいメディアテークにて、「貞山運河フォーラム」が開催されました。

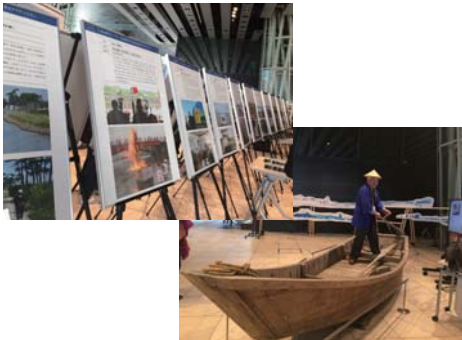
東北大学災害科学国際研究所教授、川島秀一先生の「水辺の暮らしと文化」という演題で基調講演がありました。日本各地の生業としての漁と海辺の暮らしの文化が中心でした。先生は気仙沼市生まれで、東日本大震災で被災しました。震災で失われた沿岸部のかつての浜の暮らしや漁の紹介がありました。福島県新地町等、各地で漁業に従事している方も参加していました。

この日、会場に展示された木造小型和船「さくば」は、川島先生に紹介紹介により、南三陸町歌津の岩石棟梁が建造したものだそうです。

「貞山運河の魅力的活用」についてのパネルディスカッションでは、船から見る運河の風景の素晴らしさ、子どもが運河で舟遊びすることで培われる感性、かつての運河沿いの暮らしの魅力、沿岸部の風物を活かした新たなアートデザイン、観光や漁業など、様々な活用の可能性等について話し合われました。

魅力的活用には、運河沿いの様々な活動の連携が重要のようです。

このフォーラムでは、本プロジェクトの紹介パネルも展示いただきました。



開催
されました

「海岸林から考える ふるさと・里浜の復興デザイン」



2月24日(土)、東北学院大学土樋キャンパス押川記念ホールにて「海岸林から考える ふるさと・里浜の復興デザイン」が開催されました。

最初に日本海岸林学会の吉崎真司先生から、これまでの海岸林・これからの海岸林の話がありました。海岸林のはじめは、西暦1,500年ころの沼津の千本松原に由来するようです。また、今は、白砂青松だけがたたえられますが、かつては長汀曲浦（ちょうていきょくほ）が絶景とされていたようです。

（仙台湾も長汀曲浦と言えるのではないのでしょうか）

東北学院大学の菊池慶子先生は、仙台湾岸の植林の歴史を学習し、これからの地元の活動に受け継いでいくことの大切さを話されました。

広島工業大学の岡浩平先生は、全国の海岸林を紹介しながら、よい海岸林を守るには、よい砂浜海岸を守る必要性を話されました。東北学院大学の柳沢英明先生は、海岸林の津波防災を検証し、8メートル以上の津波には効果がないと分析していました。